

九州朝陽会報

平成二十一年七月二十五日発行 第九号

連載 「新宿」の思ひ出」

第二回 「鐘は鳴る 鐘は鳴る」

朝陽同窓会顧問・九州朝陽会特別会員

佐藤 喜一（一回）

和田 善一という数学の先生がおられた。昭和21年から51年まで三十年間も在職された方だから、ご存知の方も多いだらう。解析だったか幾何だったか、わたしもご指導を受けた。温厚・誠実・公平でやさしく、誰からも敬愛される師だった。

石井 幸孝会長の同期（昭和26年卒）に、青井忠雄さんがいる。「クレジットの丸井」の総帥として活躍された方だ。この青井さんの三年生の担任が和田さんだった。

商人の息子に高等教育は不要と考え、大学には行かぬと決めていた青井さん親子に、進学を説得されたのが和田さんである。先生は青井さんの家まで赴き、熱心に受験を勧め、結果青井さんは早稲田へ進学する。

「私の今日あるのは、先生のおかげです」

と、青井さんがしみじみと語ってくださったことがあった。

この話は、わたしが「新宿」の教壇に立つようになり、かなり経ってからのものだが、次のエピソードは母校着任の年のことだ。

当時は、先生方全員が忘年会を兼ねて一泊旅行をすることが多かった。その年はたしか伊豆の温泉に行ったように思う。



和田先生と小暮先生

ひと風呂浴びて宴会が始まる。少し酒が入ると余興が始まる。三十二歳といえ新人だから、わたしは、小さくなって緒先生の芸に見入っていた。

何人かの後、和田先生が起立された。そして、直立不動とも言うべき姿勢で、静かに歌い始められた。

♪ なつかしの想ひ出にさしくむ涙
なつかしの思ひ出に流るる涙
マロニエの花はさけと

恋しの君いつこ

『巴里の屋根の下』―わたしの好きな歌の一つである。わたしは驚いた。あの謹厳実直そのもので、お酒もあまり召しあがらない和田先生が、どうしてこのシャンソン

をと思ひながら、耳を傾けた。

♪ 巴里の屋根の下に住みて、

楽しかりしむかし

燃ゆる瞳、愛の言葉、

やさしかりし君よ

鐘は鳴る、鐘は鳴る、

マロニエの並木路、

巴里の空は青く噴れて

遠き夢を揺る

朗々と、というよりも、しっかりとぎちんと歌われた。皆一斉に拍手!! どうやらこの「うた」は先生の十八番らしく、わたし以外の諸先生は何度も聴いておられたのだった。

この「うた」、いろいろな方が詞をつけているが、先生のはまがいなくあの西條八十が日本語で初めてつけた詞だった。

宴がはねてからわたしは先生に「どうしてこの『うた』を？」とたずねた。先生はにっこりと笑って「僕の青春ですよ」と。なるほど、とわたし。

昭和6年に同名の映画が来日して封切られる時、西條さんは原稿を見ることなく、メロディだけをくちざさみながら作詞したという。メロディを聞いていると、か

つてパリに留学した時の青春が甦ってきて、気がつくパリへの郷愁が盛りこまれていた、ともいわれている。だからこそ、多くの若者に愛され歌い続けられた「うた」なのだろう。和田先生もその一人だったのだ。

和田先生がマロニエの並木道を歩きながら鐘の音を聴かれたかどうかは、残念ながら聞きそびれた。でも、西條さんの「鐘」は少々音色を変えて、『六中行進曲』（詞：西條八十・曲：堀内敬三 昭和16）の中で鳴っている。この「鐘」はいうまでもなく『健児の歌』の中で響く「興国の鐘」だ。

♪ 空に鳴る鳴る 興国の

鐘にあはせて 足音とどろ

進めわが友 六中健児

高い理想へ まっしぐら

（『六中行進曲』第三連）

この歌が誕生した昭和16年は、六中創立二十年目にあたる。その、「六中」は青春時代を迎えていたのだった。

和田先生が旅立たれて今年には十三回忌。睡蓮の花咲く池のほとり、まだこの『うた』を歌われているかどうかは、知る由もない。

花見の会を開催しました

3月29日、日曜日。まだ春は名のみの福岡でお花見の会を開催しました。

夕刻四時半、柳の芽吹く福岡城址のお堀端、福岡市営地下鉄大濠公園駅に田上三雄(2)石井幸孝(3)小泉純理(7)寺田順生(9)森重夫

(10)大羽宏一(13)小林牧(28)各氏と山下美智恵(29)の8名が集合。大濠公園東に隣接の城内・舞鶴公園は、人波と出店や持ち込み宴会などの煙や香りいっぱい、気分も浮き立ちます。「NPO法人福岡市民の会」理事長でもいらっしやる石井会長のお城にまつわる蘊蓄も楽しみつつ、桜下を歩きました。



事前に小泉事務局長が周到な下見のうえ日程を決めてくださった甲斐もあり「曇天に満開の桜」のお花見日和。天守跡までは、昔日の面影を残す段差の大きな石段です。寺田様ご指導の「仙骨体操」を意識しながらもヒールのブーツを悔やみつ目目を上げれば、微笑む田上様が飄々と登っていらっしやいました。



天守跡展望台からの↑「一目数百年」がこの写真。爛漫の桜に誘われるのでしょうか。写った一同はこのとおり、オポエをデジカメに持ち替えて撮影してくださる小林様も「今宵

会う人みな」も、笑顔でした。

桜ごしに望むビル群は、近年、電通九州・福岡フィナンシャルGP本社・読売西部本社や高層マンションなどが建った中央区大手門地区。ランチタイムには、洒落たエプロン姿のお弁当売りが、蓮の咲くお堀端にとりどりのパラソルを開き、プチ丸の内といった風情です。

会食は、新婚の白井康生(47)様(奥様、毎度ごめんなきいね)も加わり9名で五時半開始。会場は「丸鉄おの」飲放題四千元也。(福岡市中央区舞鶴1-3-11 電話092-731-1539 無休 1730~2400)



経営のONOグループは、十二年目の今年まで毎年一店ずつ、テイストの違う飲食店を中央区内あちこちにオープンさせて福岡で今評判のお店です。

熊本尚綱^{しょうけい}大学謝恩会で、学長として嗜着美女に囲まれた大場様のお写真を着に和やかな宴席となり、二時間半。森様のお店「コザック」(福岡市博多区中洲3-4-6多門ビル3階 092-271-1539)で、田上様の「青い山脈」に唱和して締めとなりました。【編者】

事務局からのお知らせ

・平成21年度総会

今年度総会は先般の幹事会で、下記のとおり開催することになりました。皆さんには早めに予定を組んでいたいただきます。多数の参加をお待ちしています。会場は昨年と同じですが、詳細は同封のがきをご覧ください。

日時：平成21年10月24日(土)

17時~20時、

場所：「中国菜館福新楼」

福岡市中央区天神2-3-33

電話：092-771-3141

会費：9千円(内年会費1千円)

・会員の異動および現況

6月末日現在で会員数は76名ですが、渡邊又十郎(9回)さん、谷口博(21回)さんが今年はじめに下記の方へ転出され退会されました。従って実数は74名です。

渡邊又十郎 東京都へ
谷口博 神奈川県へ

・年会費納付のお願い

6月末日現在8名の方が今年度会費未納となっています。この方には振込用紙を同封しています。

会計年度の都合上、9月末日までの納付をお願いします。

・寄稿のお願い

この会報も小泉様に励まされながら(冷や冷やさせて申し訳なく思っています)発行に漕ぎつけました。同窓生による世代間の絆を深める

為に、自由闊達な意見や情報などの交換の場となればとの願いで、続けてゆきたいと考えています。身辺雑記、体験談、地元九州各地発信の話題、趣味の歌や句や写真など何でも、ぜひふるって寄稿ください。

【発行元】

九州朝陽会事務局
〒811-3221
福津市若木台1-20-7
TEL&FAX:0940-43-5545

【事務局長】

小泉純理(新7回)
E-Mail kjun612@nifty.com

【編者】

山下美智恵(新29回)